

スター・プリンセス、
米国の大手トラベル誌コンデナスト・トラベラー主催
「2026 ホットリスト」に選出
最新スフィア・クラス客船が、世界の優れた新造船として高い評価を獲得



[プリンセス・クルーズ](#)は、米国大手のトラベル誌コンデナスト・トラベラーが主催し、世界中の新しい旅行体験を厳選して毎年紹介する「[コンデナスト・トラベラーホットリスト2026](#)」に[スター・プリンセス](#)が選出されたことを発表しました。

30回目を迎えるコンデナスト・トラベラー主催の「ホットリスト」は、デザインやサービス、そして土地の魅力を体現する体験価値において新たな基準を打ち立てた、開業・就航から1年以内の優れたホテルやリゾート、レストラン、クルーズ客船を同誌のグローバル編集チームが厳選し、表彰しています。

スフィア・クラスの最新客船「スター・プリンセス」は、プリンセス・クルーズを象徴するゲスト体験をさらに進化させ、モダンなデザインと温かい空間を融合させ、お客様が世界とより深くつながれるように設計されています。今回のホットリスト選出は、同船にとって記念すべき節目が続く中で実現し、スター・プリンセスは初のパナマ運河通航に続き、2026年5月にはシアトル発着のアラスカクルーズ初就航を果たし、スフィア・クラスとして初めて同地域を航行する客船となりました。

プリンセス・クルーズのチーフ・マーケティング・オフィサーであるマリー・リーは次のように述べています。

「コンデナスト・トラベラーのホットリスト2026に『スター・プリンセス』が選出されたことを大変光栄に思います。雄大なオーシャンビュー、シームレスに融合したパブリックスペース、そして“つながり”を重



視した設計を採用することで、スター・プリンセスはお客様と寄港地との距離を縮めるとともに、お客様同士のつながりも深めます」。

スター・プリンセスで航くアラスカクルーズ

プリンセス・クルーズは2026年、ブランド史上最大規模となるアラスカシーズンを展開し、アラスカの雄大な自然美に没入できるよう、細部にまでこだわって設計されたスター・プリンセスが初就航しました。8隻体制で全180出発、19の寄港地を訪れる拡充されたプログラムでは、クルーズだけでなく、陸上滞在を組み合わせたクルーズツアーに至るまで、これまでにない幅広いアラスカ体験をお楽しみいただけます。

スター・プリンセス

17万7,800トン、乗客定員4,300名のスター・プリンセスは、2025年10月にバルセロナでデビューを果たしました。ワンランク上のダイニングやワールドクラスのエンターテインメントと、ブランドを象徴するゲスト体験を融合し、プリンセス・クルーズ体験の新たな進化を体現しています。

本船は、スフィア・クラスならではの特徴的なデザインを採用しており、サントリーニに着想を得たガラス張りのリトリート空間「ザ・ドーム」や、外向きに広がるスフィア構造により、中央のピアツァを光あふれる多層構造の交流空間へと進化させています。

コンデナスト・トラベラー主催の「ホットリスト」への選出は、きめ細やかなサービスや着想に富んだデザイン、寄港地への深い敬意を大切にしながら、価値ある旅行体験の提供に取り組み続けるプリンセス・クルーズの姿勢を改めて示すものです。

プリンセス・クルーズについて

米国ドラマにちなみ、「ラブ・ボート」の名で知られるプリンセス・クルーズは、世界で最も象徴的なクルーズ・ブランドとして、大型船ならではのサービスと共に、小型船ならではのお客様のご要望に合わせたきめ細かいサービスの提供により、年間数百万人ものお客様を最も人気のデスティネーションへお連れし、夢のバケーションをお届けしている。充実した客室、ワールドクラスのダイニング、壮大なパフォーマンス、受賞歴のあるカジノやエンターテインメント、ラグジュアリーなスパ、想像を掻き立てる体験、数々のアクティビティとメダリオン・クラスの融合により、カリブ海、アラスカ、パナマ運河、メキシカンリビエラ、ヨーロッパ、南米、オーストラリア/ニュージーランド、南太平洋、ハワイ、アジア、カナダ/ニューイングランド、南極、ワールドクルーズなどの世界中の素晴らしい環境での大切な方との忘れられないひとときを創造している。2025年10月に最新かつ革新的な客船「スター・プリンセス」がデビューし、姉妹船「サン・プリンセス」は2年連続で、米国大手のトラベル誌コンデナスト・トラベラーの「メガ客船部門第1位」に選出された。プリンセス・クルーズは、カーニバル・コーポレーション& plc (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK)傘下の会社。